

千葉大学病院にて胸腺上皮性腫瘍に対して治療をされた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年9月11日

呼吸器外科

呼吸器外科科では、「胸腺上皮性腫瘍に対しての術前導入化学療法の治療成績についての検討」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2004年1月1日～2023年8月31日の間に当院呼吸器外科にて胸腺上皮性腫瘍に対して導入化学療法後に手術治療をされた方

1. 研究課題名

「胸腺上皮性腫瘍に対しての術前導入化学療法の治療成績についての検討」

2. 研究期間

2023年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

局所進行胸腺上皮性腫瘍に対して、術前導入化学療法後に手術を施行することがありますが、その有用性は明らかにされておられません。胸腺上皮性腫瘍は稀な腫瘍ですが、完全切除が肝要な疾患として知られております。本研究では、当院において術前導入化学療法後に手術を施行した方々のデータを解析することで、局所進行胸腺上皮性腫瘍に対しての術前導入化学療法の有用性を明らかとし、今後の治療に役立てることを目的としています。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

2004年1月から2023年8月の間に当院呼吸器外科で胸腺上皮性腫瘍に対して術前導入化学療法後に手術をお受けになった方につき、過去のカルテをもとに臨床データ(性別、年齢、既往歴、併存疾患、胸腺上皮性腫瘍のStageと病理所見、術前導入化学療法の内容、化学療法前後での腫瘍の画像所見、手術術式、手術アプローチ、手術時間、出血量、術後合併症、術後再発の有無、再発時の治療内容、転帰)を調べさせていただき、検討することにより局所進行胸腺上皮性腫瘍に対しての術前導入化学療法の有用性を明らかにします。

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究責任者：呼吸器外科 准教授 鈴木秀海

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部呼吸器病態外科学資料室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院呼吸器外科

医師 田中教久

043(222)7171 内線72296